

埼玉医科大学(後期) 英語

2026年 2月 28日実施

1

- 問 1. ② 問 2. ④ 問 3. ① 問 4. ③ 問 5. ②
問 6. ① 問 7. ③ 問 8. ④ 問 9. ③ 問 10. ①

[解説]

問 1. so that S V～で「だから～する」, 「～するように」。never occurs again から未来のことだと推定する。

問 2. so [be 動詞/助 V/完了形の have] S で「S もそうだ」。do は助 V であり, 直前の文章の V が一般 V のときに使う。

問 3. because of は今回 the train 以下を修飾する [副詞]。It is [副詞] that S V～という形を作ると強調構文になる。

問 4. S is to V 原～で「S が～する予定だ」という意味。「今日までに準備が終わる予定だった」となる。

問 5. 上が「出席している」, 下が「存在する」。

問 6. um up [名詞] には「[名詞] を要約する」というところから「[名詞] を総括する」という意味もある。また large sum of money で「大金」という意味。sum は単独で「合計」という意味もある。

問 7. in charge of [名詞] で「[名詞] を担当して」という意味。charge for [名詞] で「[名詞] の料金として請求する」。

問 8. due to [名詞] で「[名詞] のせいで」。また S is due to V 原～で「S が～することになっている」という意味もある。

問 9. do with [名詞] で「[名詞] を処理する」。do の後に [名詞] が抜けているので what が入るように見せかけられているが, 次の文に panel recycling とあるので aging solar panels をどう処理するかが問題な筈。

問 10. 仮定法未来の「万が一」という表現の倒置。

2

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ④ 問 4. ① 問 5. ②
問 6. ③ 問 7. ③ 問 8. ④ 問 9. ① 問 10. ②

[解説]

問 1. 第 2 段落最終文の内容に合致。obsolete は「廃れる」という意味だが選択肢の outdated と一致する。

問 2. 直前の「不要な機器の数が急激に増えることは」という内容と landfills が「ごみ処理場」という意味で of から landfills が the amount を修飾しているということから解くこともできるが, 第 2 段落 6 文目の「新たなバージョンのものが世に出るとあまりに多くの製品が棄てられる」という内容も解答根拠として使うことができる。

問 3. 直前の「これらの古いコンピューターは最終的には捨てられるかもしれない」という

内容の結果として (As a result) 最適なものを考える。

問 4. 与えられた文の意味は「電子ごみの量は年々増加している」。これを空所 [I] に補うことで、次の文の **This means it's a numbers game** 「このことは、それが数の問題だということを意味している」という記述にすんなりつながる。

問 5. 第 6 段落第 2～3 文に、いわゆるレアメタルなどを含む再利用可能な資源が電子機器の内部に存在する可能性について述べられているため、それを言い換えた③が正しい。

問 6. ①は第 1 段落、②は第 5 段落、④は第 6 段落に言及がある。③の **local educational programs** については本文中に述べられていない。

問 7. Bob からのメールの最終文に、**my number one question is what more can be done to lessen the e-waste problem in my community** と述べられていることから、それを言い換えた③が正しい。

問 8. Mary からのメールの第 1 段落第 2 文に、**in our community, HRC's number one goal is to recycle all old devices instead of storing them or throwing them out** と述べられていることから、それを言い換えた④が正しい。

問 9. **pull out all (the) stops** で、「最大の努力を払う、すべてのものを使う」という意味のイディオム。したがって、①が正しい。仮にこの知識がなくても、②の **remove new laws**、③の **be dishonest**、④の **spend more money** は、Bob に対するアドバイスとして明らかに不適切であることから消去法で選べる。

問 10. Mary からのメールの第 3 段落最終文に、**recycling e-waste not only protects natural resources but also supports the economy by creating jobs** と述べられていることから、それを言い換えた②が正しい。

3

- 問 1. ② 問 2. ③ 問 3. ① 問 4. ② 問 5. ④
 問 6. ② 問 7. ③ 問 8. ③ 問 9. ④ 問 10. ④

[解説]

問 1. 第 1 段落第 5 文の「クナスが知りたかったのは、ミルンが嗅ぎ取っているものが何なのかをバランは特定できるのかであった」という記述が、そのまま選択肢②に言い換えられる。

問 2. **which allows ...** 以降の「そのことが、他者が探知できないような微妙な (匂いの) 変化を探知することを可能にする」という記述に注目する。ふつうの人が気づかないほどのごくわずかな匂いの変化にも過敏に反応するということは、匂いに対する閾値が低く、③ **lower concentrations** 「低濃度」の匂いでも感じ取れるということだと考えられる。

問 3. 第 3 段落第 3 文に、1990 年から 2015 年の間でパーキンソン病の患者は倍になり、600 万人を超えたことが述べられているため、それを言い換えた①が正しい。

問 4. ②を補い、**before they are diagnosed** 「彼らが診断される前に」とすれば文脈に適す

る。

問 5. 第 4 段落第 1～4 文で、ミルンの夫は 1982 年の時点で匂いが変わり、その後 1994 年にパーキンソン病と診断されたものの、両者の間に関連性を見出すにはさらに 15 年を要したと述べられているため、それを言い換えた④が正しい。

問 6. ミルンの仮説とは、問 5 でも触れた通り、パーキンソン病を罹患した人は匂いに変化が生じるというものであるから、②が正しい。

問 7. 第 5 段落第 1 文で、 balan は初めミルンが単に加齢臭を感じ取っただけなのではと疑った旨が述べられているため、それを言い換えた③が正しい。なお、skepticism が形容詞 skeptical 「懐疑的な」から来た語であることが分かれば、a suspicion that ～ を読んだ瞬間にこれが答えなのではないかと察しはつく。

問 8. まず、パーキンソン病に罹患した人の群と、そうでない人の群 (=control group, 統制群) で各 6 人であるが、第 7 段落第 1 文に、統制群の中にもパーキンソン病と同じ香りのする T シャツが 1 枚あったと述べられている。したがって、ミルンがパーキンソン病患者の T シャツとして選んだ枚数は 6+1=7 枚で、③が正しい。

問 9. 最終段落最終文に、Those four compounds (=前文の four of those nine molecules を指す) alone can predict Parkinson's disease in 9 out of 10 people, making these molecules potential biomarkers for Parkinson's disease とあることから、④が正しい。

問 10. 第 9 段落第 2～3 文に、mass spectrometer を通じてミルンが分子の匂いを嗅ぎ取れるようにした旨が述べられているため、それを言い換えた④が正しい。③がやや紛らわしいが、あくまで in 9 out of 10 people 「10 人中 9 人」という精度であるため、invariably 「常に、決まって」と言い切るには不足である。

4

- 問 1. ④ 問 2. ③ 問 3. ② 問 4. ③ 問 5. ①
 問 6. ② 問 7. ④ 問 8. ① 問 9. ④ 問 10. ③

[解説]

問 1. count 「重要である」(≡matter) ※第一文型で用いる時のみ。

問 2. 文構造上、全体は副詞節、内部構造上も副詞になるものが前提。なお、前文で時間の話をしているので③。

問 3. 「同じことが良いことにも言える」ということ。つまり、前段落の、「悪いことはいつでも悪い」のと同じように、「良いことはいつでも良い」ということ。

問 4. この段落 1 行目より、time の距離 ≡ space の距離とある。空欄の前は time の距離、後は space の距離なので、イコール表現が欲しい。

問 5. 下線部以降では、「現在やったことはこれから先のことを考えてやるのではない」という内容。下線部自体も、they が old men であり、彼らが未来決して座らない... という内容であり、等しい。

問 6. 連鎖関係詞の問題。自動詞が欲しいと分かる。内容上も、「残る」という意味系統し
かないだろう。

問 7. 関係詞の問題。元の形は、we () every decision relate to... つまり、後ろに O
原形をとれるのは、help か make のみ。あとは、内容上の判断。

問 8. 下線部以降では、「未来より現在の人と強い関わりを持つ。」とある。抽象具体の関係
から選べる。尚、partiality は知らなくても partial 「偏りのある」はしっておきたい。知っ
てれば、内容が分からずとも、over が比較表現なので瞬殺できる。

問 9. 一般論との次の文との対比から考えれば、④ repay 「～に報いる、返礼する」が妥当
だろう。

問 10. 著者の主張は、最終段落 3 行目以降に一致するはずである。②のような内容は本文
中に記載はあるが、筆者は否定しているの、注意したい。

【総評】

問題構成は例年通り。大問 1・2 が平易である一方、大問 3・4 はやや読みごたえのある文
章。大問 3 は医系長文で、注釈のない専門用語が埼玉にしてはやや多く、知識が不足してい
ると読みづらかったかもしれない。ただし、埼玉の例年の傾向通り、該当箇所を探しその前
後を局所的に読むだけで対応可能な問いも多いので、そういった問いをきっちり回収し、か
つ難易度の低い大問 1・2 で十分に得点を稼げたかどうかを合否を分かち得よう。一次通
過には 65%程度の得点が望まれる。

医大別直前二次試験対策講座(後期)

- 埼玉医科大学 (般後・共)
- 昭和医科大学 (般Ⅱ期)
- 日本医科大学 (般後)
- 獨協医科大学 (般後)
- 金沢医科大学 (般後)
- 日本大学 (N方式2期)
- 聖マリアンナ医科大学 (般後・共)

合格を勝ち取る！
各大学の二次試験の要点解説と面接対策

◆スケジュールについてはHPでご確認ください。



26 年度解答速報はメルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

本解答速報の内容に関するお問合せは


医学部専門予備校
YMS
 heart of medicine
 ☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録

